

「第7回中南米日系社会との連携調査団」が パラグアイ及びペルーに派遣されました！

11月23日（金曜）から12月9日（日曜）までの17日間、「第7回中南米日系社会との連携調査団」がパラグアイとペルーに派遣されました。ブラジル在住の東千秋中小企業等海外展開支援員（広域）から同調査団の様子が届いたのでご紹介します。

<パラグアイの概要>

パラグアイは南米大陸の中心に位置しており、「南米のおへそ」とも呼ばれています。ブラジル、アルゼンチン、ボリビアと国境を接しており、南米南部共同市場（メルコスール）域内向けの生産・輸出基地として、現在注目を集めています。一人当たりGNIは3,920米ドル（2017年世銀）、安定したマクロ経済（GDP経済成長率は5%弱、インフレ率は4.5%以下で推移）を維持しています。パラグアイを代表する綿織物はアオポイ（公用語の一つであるグアラニー語でアオは布を意味し、ポイは織細を意味する）と呼ばれ、繊維産業が主要産業の一つです。2018年4月に大統領選挙が行われ、8月に与党コロラド党のマリオ・アブド・ベニテス氏が大統領に就任、新政権が誕生しました。

<パラグアイのビジネス環境>

安価な労働力や電力に加え、シンプルな税制、車両の製造・組み立て/自動車部品の製造等を促進するための国内自動車政策など、パラグアイ政府は積極的な外国企業誘致政策を推進しています。投資インセンティブの一つである「マキラ（輸出保税加工地区）制度」を活用し、自動車向けワイヤーハーネスの生産も拡大しています。ブラジルのGeturio Vargas財団が発表した中南米各国の投資環境ランキングによると、パラグアイは第3位。メルコスール域内では最上位に位置しています。

<パラグアイの日系社会>

パラグアイの推定日系人数は約10,000人。隣国のブラジルやペルーと比較して多くはないものの、同国における日系人のプレゼンスは高いものとなっています。特に農業分野に対する日系人の貢献度は高く、パラグアイ国民からも高く評価されています。今回の連携調査団に参加した日本企業11社は、首都アスンシオン並

びにブラジルとの国境に近いシウダ・デル・エステ市にて、日系団体との意見交換を行いました。



写真左：ロペス宮殿（大統領府）



写真右：日系団体との意見交換

<ペルーの概要>

ペルーはアルベルト・フジモリ政権（1990年7月～2000年11月）以降、アレハンドロ・トレド政権時（2001年7月～2006年7月）に経済が急速に伸びました。現在のマルティン・ビスカラ政権下（2018年3月～現在）においても、鉱物資源関係の輸出に支えられ、ペルー経済は安定的に成長しています。人口は約3,200万人で、一人当たりGDPは6,762米ドル（2017年IMF）。国内消費も堅調に推移しており、国内ではショッピングセンターやデパートが増加、小売の売上高が伸びています。国土は海岸地域（約10%）、山岳地域（約30%）、熱帯雨林地域（約60%）によって構成され、それぞれ漁業、鉱業、林業などの異なる産業が盛んです。中南米の中でも生物多様性に富んでおり、野生動物の宝庫でもあります。



写真左：ペルーの青果市場の様子



写真右：リマ商工会議所（CCL）訪問

<ペルーのビジネス環境>

参加した日本企業 11 社は、リマ商工会議所（La Cámara de Comercio de Lima : CCL）を訪問し、ペルーのビジネス環境について情報収集を行いました。CCL より、ペルーは外国企業に対して原則自由であり、外資出資比率に関する規制はない点（例外あり）、米ドルや中国ウォンなどの外貨口座の開設も容易で、外貨保有額に制限がない点などについて説明を受けました。CCL のプレゼンでは、経済成長の後押しを受けていずれのセクターにも可能性がある中、特に（1）漁業、（2）魚粉の輸出、（3）缶詰の輸出、（4）鉱業、（5）不動産業、（6）観光業の成長が期待されるとの言及がありました。

<ペルーの日系社会>

ペルーの推定日系人数は 60,000~70,000 人とされ、データ上は約 100,000 人とも言われています。現在は日系 4 世から 5 世まで世代が進んでおり、日本語を理解する人は少なくなってきましたが、現地に溶け込んで生活やビジネスを行っている点が特徴です。ペルーでは日本の頼母子講を前身とする信用組合が非常に力を持っており、日系人と現地企業とのネットワークに強みを持っています。調査団に参加した企業 11 社は、現在 5 万人以上の会員を持つ日系人による信用協同組合を訪問し、サービス内容や会員企業のビジネス状況に関する情報収集を行いました。

<ペルーでのビジネスマッチングセミナー>

12 月 5 日、ペルー日系人協会日秘文化会館において、JICA 主催/ペルー日系人協会・日秘商工会議所協力による「中南米地域国際協力・ビジネスマッチングセミナー」が開催されました。日本企業とのビジネスチャンスに関心を持つ現地企業 36 社（約 50 名）が参加し、会場には日本企業や関係者も含め 80 名近くの人々が集まりました。個別面談では、次回の商談につながったり、参加日本企業の製品を現地企業や地方自治体へ紹介したいという申し出が出たりするなど、今後のビジネス展開に向けて前向きな話し合いが行われました。



写真左：日系組合の前で集合写真



写真右：セミナー会場の様子

<参加企業の声>

今回参加された企業からは、「短期的で商談のみのプログラムではなく、日系社会の理解まで組み込まれた充実した内容だった。」「情報量が少ない中南米を知るには素晴らしい企画。」「日系人や日系社会とのふれあい、（日系社会支援を中心とした）JICA 事業への理解にとって有意義だった。」「パラグアイやペルーの市場理解を深めるのに役立った。」「物理的な距離はあるが、気候が良く、親日の方が多く、生活もしやすいと感じた。」「ビジネスへの手ごたえを感じた、この温度感が冷めないうちに、次の行動に移したい。」などの声がありました。